

小児がん治療のために

中心静脈カテーテル挿入を受けた患者さんの診療情報を用いた 臨床研究に対するご協力のお願い

研究責任者	所属 血液・腫瘍内科 職名 科長 氏名 長谷川 大一郎 連絡先電話番号 078-945-7300
実務責任者	所属 血液・腫瘍内科 職名 部長 氏名 岸本 健治 連絡先電話番号 078-945-7300

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、上記実務責任者（岸本健治）までご連絡をお願いいたします。

1 対象となる方

2016年から2024年までの間に、兵庫県立こども病院で中心静脈カテーテル挿入を受け、がん治療の投与を受けられた方

2 研究課題名

小児がん患者におけるカテーテル関連血流感染症における発症時期と原因菌の関連

3 研究実施機関

兵庫県立こども病院 血液・腫瘍内科

4 本研究の意義、目的、方法

がん治療を受ける患者さんでは、抗がん剤を投与するための点滴確保や体調や副作用を評価するための採血が、長い治療期間の中で大きな負担となります。安全な薬剤投与路として、また苦痛の少ない採血方法として、首や手足の付け根に近い太い血管から点滴ラインを入れ、その点滴ラインを長期間使用できるように体に留置することを「中心静脈カテーテル挿入」と呼びます。小児がんに対して治療を受ける患者さんでは、多くの方がこの中心静脈カテーテル挿入を受けられています。

中心静脈カテーテル挿入には大きなメリットがある反面、副作用や合併症の危険性があり、中でも感染症が問題となります。血液中に細菌が侵入して増殖し、体に留置された中心静脈カテーテルがその侵入口あるいは侵入した細菌の巣となってしまうことがあり、「カテーテル関連血流感染症」と呼ばれています。カテーテル関連血流感染症では薬物治療のみならず、中心静脈カテーテルの抜去を含めた治療が必要になることが少なくありません。がん患者におけるカテーテル関連血流感染症では特有の種類細菌が原因となることが報告されていますが、その発症時期と原因菌の種類がどのように関連するかは未だ知見が十分ではありません。本研究は当院で中心静脈カテーテル挿入を受け、がん治療を受けた患者さんにおけるカテーテル関連血流感染症の発生状況を明らかにし、がん治療を受ける患者さんの診療に関する有用な情報を見出すことを目的としています。本研究は過去の診療記録を基に、中心静脈カテーテル挿入とがん治療を受けられた方の情報を収集して行います。

5 協力をお願いする内容

対象となる方の診療録（カルテ）、検査データを閲覧させていただきます。

6 本研究の実施期間

西暦 2025 年 1 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切開示いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

実務責任者

兵庫県立こども病院

血液・腫瘍内科 部長 岸本 健治

連絡先電話番号 078-945-7300

以上